allcinema

秘密（1952）

メディア 映画
ジャンル
製作国　日本
色彩　B&W
初公開日 1952/11/27

【解説】
　中村八朗の小説『朝餉の歌』を、井手俊郎が脚色し久松静児が監督。1958年には原作と同タイトルでテレビドラマ化された。
　母を亡くした槙家では、女中の美代が十六年にわたり家庭を支えてきた。ミッションスクールの校長である父の信太郎と次女の眞梨子、長男の秀樹は美代に全幅の信頼を寄せていた。しかし長女の由紀子だけは美代によそよそしく接していた。その由紀子が会社から帰宅後、お腹を押さえて倒れ込んでしまう。医師の診断によれば、流産の手術が原因だという。美代は由紀子を献身的に看病し、流産のことも誰にも話さずにいた。しかし由紀子は美代をますます煙たがるようになってしまう。そんな美代のもとに兄から縁談の手紙が届いた。同じ内容の手紙を受け取った信太郎は、美代に「私と結婚してくれないか」と告白する。

【クレジット】
監督　久松静児
原作　中村八朗
脚本　井手俊郎
撮影　高橋通夫
出演　宮城野由美子
　　三田隆
　　若尾文子
　　船越英二
　　田中絹代

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.